

CSW57 Side Event of Japan

“SITUATION AND MEASURES TO ELIMINATE VIOLENCE AGAINST WOMEN”

Date & Time: March 6th (Wed.) 11:30~ 12:45

Venue: UN NLB Conference Room (B)

Organized by: The National Women’s Committee of UN NGOs /The International Women’s Year Liaison Group, Japan / JAWW (Japan Women’s Watch) / Permanent Mission of Japan to UN

Language: English

Opening Remarks: Masako Tanaka (Chair,JAWW)

Opening Address: H.E. Mr. Jun Yamazaki(Ambassador of Japan to the United Nations)

Speakers:

SERIOUS SITUATION OF DATING VIOLENCE AND MEASURES IN JAPAN

By Junko Jokura: Member of the Board of Directors of JAUW (Japanese Association of University Women)

JICA’S PROJECT ON PROTECTION OF TRAFFICKING IN PERSON (TIP) VICTIMS

By Shioko Momose : Chief Advisor, Project on Strengthening Multi-Disciplinary Teams (MDT) for the Protection of Trafficked Persons in Thailand, JICA

WOMEN AND THE ECONOMY: WHAT IS THE IMPACT ON VIOLENCE?

By Elizabeth Benham : Immediate Past President BPW International

TAKING MEASURES TO PREVENT VIOLENCE AGAINST WOMEN**IN THE DISASTER AREAS**

By Atsuhiko Beppu : Deputy Director General for Gender Equality Cabinet Office Japan

Comments from the floor on this issues:

Moderator: Masako Hiramatsu (Vice Chair, The National Women’s Committee of UN NGOs)

NGO と国連日本代表部との共催によるサイドイベント実施報告

平松昌子（国連 NGO 国内婦人委員会副委員長） 2013/05/07

日時 = 2013年3月6日（水） 11：30 - 12：45 【設定】
実施 11：40 - 12：50（入替時間でおした）

場所 = 国連本部 NLB カンフェレンス・ルーム B

テーマ = "Situation and Measures to Eliminate Violence against Women"
【女性に対する暴力絶滅に向けて現状と対策】

使用言語 = 英語

プログラム = （敬称略）

開会挨拶：田中正子（JAWW 代表）...主催者・NGO を代表して
主催者発言；山崎純（国連大使） / 日本の支援などに触れて
スピーカー：

城倉純子（大学女性協会・理事）

“Serious Situation of Dating Violence and Measures in Japan”

百生詩緒子（JICA / タイ・人身取引被害者 MDT 事業主任アドバイザー）
“Project on Strengthening Multi-Disciplinary Teams for Protection of
Trafficked Persons in Thailand”

エリザベス・ベンハム（BPW International 前会長）

“Women and the Economy: What is the Impact on Violence”

別府充彦（内閣府大臣官房審議官・男女共同参画担当）

“Taking Measures to Prevent Violence against Women in the
Disaster Areas”

会場からの発言

ファシリテータ：平松昌子（国連 NGO 国内婦人委員会副委員長）

（敬称略）

参加者 = 約 100 名 (114 名)

・ 会場で回覧した署名簿記名者 98 名 + 発言者 + 前方着席者
参加国 34 か国 (日本を含む)

特記事項

初の GO (国連日本代表部) と NGOs (国際婦人年連絡会・国連 NGO 国内婦人委員会・JAWW 日本女性監視機構) による共催事業として位置づけるイベントとなった。

これまでは、国連日本政府代表部の後援を得て、数回実施してきた。

NGOs サイドも、名実ともに 3 団体の共催とするために体制を点検しその結果、3 団体で実務を分担し、今年度は、国連 NGO 国内婦人委員会が実務処理を担当した。

GO & NGOs の共催事業となったことで、イベントの出演者を確定するまでに予想外に時間を必要とした。イベントを絶対に成功させるために、主催者がどのようなメッセージを発信するか、出演者に何を求めるか、それらの調整は、本年よりももう少し前倒しにすることが好ましい。

イベントへの評価としては、定員 71 名の会場に 100 名以上、30 国を超える人々が参集し、意見を交わせたことには意義はある。

フェイスブックによる配信も今後の対策だろう。代表部のフェイスブックは、極めて早い段階でアップされた。

外国からの問い合わせ用アドレスの開設が間に合わず、気付いたら個人のメールアドレスが世界を駆けまわっていた。ネットを通しての応募件数は 73 件だったが実際の来場者は 3 分の 1 と報告されている。